

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

延岡市長 三浦 久知

市町村名 (市町村コード)	延岡市 (45203)
地域名 (地域内農業集落名)	東延岡地区 (浜砂集落、長浜集落、出北集落、別府集落)
協議の結果を取りまとめた年月日	令和 7年 11月 28日 (第1回)

注1:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。

注2:「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題

担い手の高齢化に伴い、遊休農地の更なる増加が懸念されることから、後継者等の新たな農地の受け手の確保が必要なため、農地の大区画化や集積・集約化が必要。

(2) 地域における農業の将来の在り方

水田では水稻を主要作物としつつ、裏作でたまねぎやほうれん草・じゃがいも等の生産を行い、畑地利用ではビニールハウスでいちごやねぎ、花き類を生産する。また、認定農業者を中心として地元の農家への集約化を進めつつ、地域外から営農集団のオペレーターや認定農業者等を受け入れ、さらに農業を担う者を募り、地域全体で利用する仕組みの整備を進める。
地域ぐるみで定期的な畦畔や用排水路の点検に取り組み、堤防の草刈り等を実施することで地域環境の美化に努める。

2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

(1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	53.2 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	53.2 ha
(うち保全・管理等が行われる区域の農用地等面積)【任意記載事項】	ha

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方(範囲は、別添地図のとおり)

農振農用地区域内の農地及びその周辺の農地を農業上の利用が行われる区域とし、その区域と住宅地との間にある農地については、保全・管理に努める。

注:区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1)農用地の集積、集約化の方針
担い手を中心に集積・集約化を進め、団地面積の拡大を農地利用最適化推進委員と農地相談員と調整し、農地バンクを通じて進める。
(2)農地中間管理機構の活用方針
行政や関係機関と連携して農地バンクへの貸付けを積極的に行い、担い手への経営意向を踏まえ、段階的に集約化する。その際農地利用最適化推進委員及び現地相談員と調整し、所有者の貸付意向時期に配慮する。
(3)基盤整備事業への取組方針
担い手への農地の集積・集約化を進め農業生産力を向上させるため、土地改良区や行政と連携し、国庫補助事業を活用した畦畔除去による農地の大区画化・用排水路の計画的な更新等を図る。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組方針
地域内外から、多様な経営体を募り、意向を踏まえながら担い手として育成していくため、市町村及びJAと連携し、相談から定着まで切れ目なく取り組んでいく。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針
地域内で農作業の効率化を図るため育苗作業を(株)JA延岡地域農業振興支援センターやその他農業支援サービス事業者へ委託を進め、防除作業は延岡スカイサービス株式会社への委託を進めることで、地元の経営体の負担を減らし、遊休農地の発生防止に努める。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組方針を記載してください)

<input type="checkbox"/> ①鳥獣被害防止対策	<input type="checkbox"/> ②有機・減農薬・減肥料	<input type="checkbox"/> ③スマート農業	<input type="checkbox"/> ④輸出	<input type="checkbox"/> ⑤果樹等
<input type="checkbox"/> ⑥燃料・資源作物等	<input type="checkbox"/> ⑦保全・管理等	<input checked="" type="checkbox"/> ⑧農業用施設	<input checked="" type="checkbox"/> ⑨その他	

【選択した上記の取組方針】

- ⑧地区内の経営体で農業機械や乾燥設備等を集約し、ライスセンターの設立を計画する。計画の策定にあたっては、行政やJA等、関係機関と連携して取り組み、補助事業の活用により地元負担の軽減を図る。
- ⑨ライスセンターを拠点とする将来的な地域農業の受け皿となる営農組織の設立を目指す。